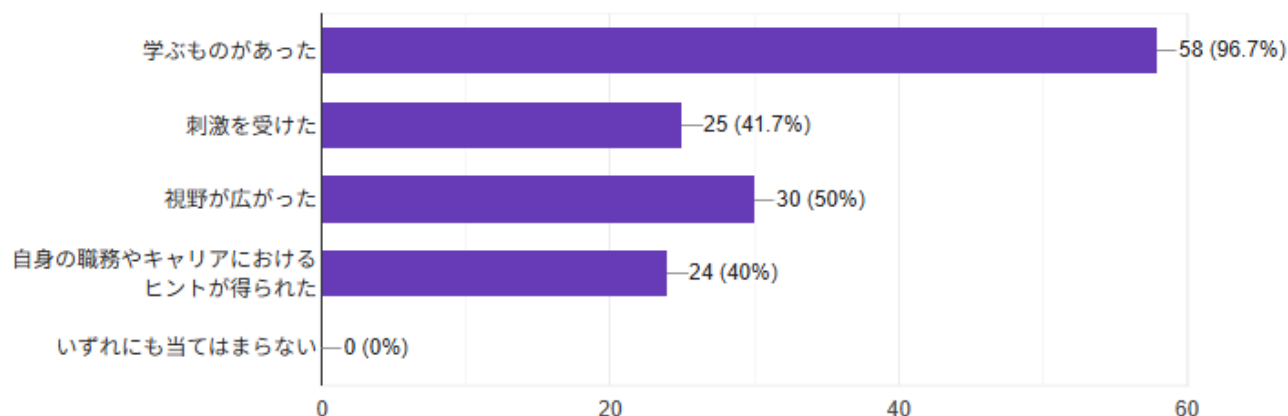


教員免許事務担当者講習会（2025/5/24 開催）アンケート集計結果

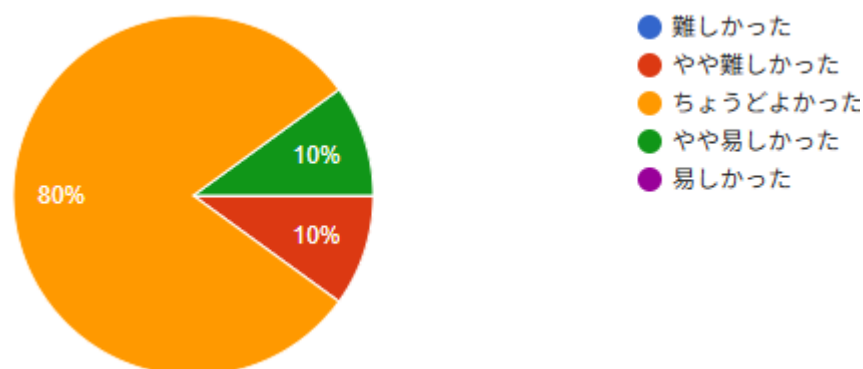
【参加者】86名（対面：34名〈登壇者除く〉、オンライン：52名）

【回答者数】60名（対面：28名、オンライン：32名）（回答率：69.8%）

1. 本セミナーについて、あてはまるものを選んでください（複数回答可）



2. 本セミナーの内容水準はいかがでしたか。



選択肢	回答
1. 難しかった	
2. やや難しかった	6
3. ちょうどよかった	48
4. やや易しかった	6
5. 易しかった	

3. 本セミナーにおいて学んだことや印象に残ったことを教えて下さい。

- 法令改正の歴史を確認できたこと。
- 法令改正の歴史が理解できて良かった。
- 学力に関する証明書作成にあたり基本的なことの再確認が出来た。
- そもそも「学力に関する証明書」が何か？という基本から入っていただき、不安が解消されたこと。
根拠法令の紹介があり、薄ぼんやりしたものが多少しっかり見えるようになった気がします（まだまだ奥は深そうです）。
- 数年ぶりに教職担当になり、改めて教職の奥深さと責任の重要性を感じました。
- 学力に関する証明書について触れるのは初めてであり、どのように作成されているのかが不透明

であったが、基礎から解説いただいたことで学力に関する証明書の基となる法律とその根拠について学ぶことができた。

○教職課程業務は初心者ですので、使用されている文言から証明書の様式、旧法から新法への移行時の様子、免許更新制度時の様子等、大変勉強になりました。

○4月からの大学事務初心者です。課程認定という言葉をはじめて聞きましたが、法律のこと、確認の仕方、証明書の意義など、とても分かりやすく学ぶことができました。半日にして、「何のためにこの業務をやるのか」という疑問が少し解決しました。ありがとうございました。

○今回の講習会を受け、なぜその証明書が必要なのか、なぜこのような様式になっているのかを自分なりに理解でき、今後の業務に活かせると強く感じました。

○履修カルテや学力に関する証明書等の過去の経緯について知ることができた。

○学力に関する証明書について、どのような規則に基づき、どのような経緯で現行のものとなったのか、またその変化に対しどのような点に留意しながらどのように対応していくべきなのか、基礎的な知識のみならず、実用的な学びも多く、今回学ばせていただいたことを今後活かしていきたいと感じました。

○学力に関する証明書について、東京の大学ですが以前から授業科目名を入れていたこと、今でも授業科目名を入れないで作成をしている大学があることが印象に残った。

○「学力に関する証明書」に開講科目名の記載がなくてもよい（東と西で違いがあった等）ということが衝撃的でした。

○関西と関東で「学力に関する証明書」の様式が異なるのは、東京都教育委員会の影響によるという説。

○東京都免許状授与申請書の様式例をはじめて見て、関東において授業科目名が学力に関する証明書に記載されない理由がわかりました。

○学力に関する証明書において、単に間違えずに作成することだけを目指していましたが、前回に作成したものを参考に、東と西の違いや、細かい注意事項など、とても勉強になりました。

○学力に関する証明書における、一般的包括的科目の扱いが申請と法令が異なることについて、詳細に聞きたいと思いました。

○課程認定申請書上の必修と、法律上の必修は意味合いが違う、ということです。万が一、そういった事態になった時の本学の対応を検討しなければならないと感じました。

○「学力に関する証明書」をもとに法令用語を解説いただけたので、よりわかりやすかったように思います。「証明書作成の『三種の神器』」の整備がとても重要であると感じました。今後のために本学でも見直していきたいと思います。

○これまで私は、実際に学力に関する証明書を発行した経験がないまま、現在はその様式を取りまとめる部署に所属しております。ほぼ独学で業務を進めている状況の中で、今回、基本用語から丁寧に学び直すことができ、大変有意義でした。本学では、証明書の様式取りまとめを教務課が行い、発行業務は各部局に任せている体制ですが、その運用に限界を感じており、「学力に関する証明書」を切り口にした今回のセミナーは、非常に関心のある内容でした。

○登壇者の方の「自分は決して特別な人間ではなく、皆さんと同じです。」という言葉です。ホッとする反面、自分自身も同レベルの意識をもって業務にあたらなければと気を改めることができました。

○本筋とは異なりますが、教職履修カルテの電子化の推奨について、実地視察で指摘されていること。

○教職課程における業務は、「専門職」的な業務であることを改めて実感し、その業務について改めて本腰を入れて業務に努めなければならないと認識することができました。

○初めて教職業務を担当するにあたり、関係法令や証明書作成において注意すべき点が良く分かった。

○小野様パート

学力に関する証明書を作成するにあたり、免許種・教科の略称、基礎資格欄の学位の表記（〇〇学士 or 学士(〇〇)）の違いなど、改めて注意すべき点を認識できた。

有馬様パート

読み替え表の重要性について改めて認識できた。また、事後調査対応届のようなカリキュラムに影響を及ぼす内容について、時期を見極めて対応する重要性が理解できた。（本学では、対応が遅い時期となったので、編入生等の対応が煩雑となった。）

満田様、多畑様パート

学生対応について、口頭だけでの対応ではなく、一緒に資料を確認して認識のずれが生じないように説明する重要性を改めて感じた。メンタル面等の対応が難しい学生が増える中で、基本となる事項について再確認できた。

- 「大学が独自に設定する科目」について、小野様のご説明を通して、理解を深めることができました。一方で、「教育職員免許法施行規則附則第 7 項」については、理解が不十分な部分がありましたので、復習をして理解を深めたいと思います。学習意欲がさらに高まる、大変有意義な講習会でした。誠にありがとうございました。
- 学力に関する証明書のそれぞれの項目が何を示しているのか、理解することができました。
- 学力に関する証明書の工夫。
- 学力に関する証明書を発行する際には、いざ依頼が来てから時間をかけるという意識よりも、読み替え表などの事前準備を徹底することが事故を防ぐ最大のポイントであると再認識いたしました。
- 資料などの文面だけでは読み取れない事情などについてもお話いただけるため、とても参考になりました。また、シラバスの内容が教職課程カリキュラムに沿って作成されているかの確認が課程認定申請時および実地視察時のみとなるため、自己点検・評価において定期的に確認することが必要であると感じました。
- 学力に関する証明書を通して日常業務で使用する法令用語について具体的に学ぶことができました。また、学生対応について、満田講師の経験に基づいた話が大変参考になりました。
- 2部の学生対応に関するグループワークで、皆さんの経験や悩み、適切な対応方法など直接お話しすることができ、とても勉強になりました。規模は違えど、どの大学さんも似たような悩みを持っていることがわかり、安心したのと同時に全国に力強い味方ができたように感じました。
- 学生支援（窓口対応）等のスキル、「学力に関する証明書」を切り口に教職課程に関わる基本的な知識を学ぶことができた点。
- 学生対応の際に注意すべきこと。誰もが同じように理解してくれるとは限らないこと。
- 対面部分で学生対応において重要な点を学ぶことができました。特に基本ではありますが「記録」「たらい回しにしない」「資料提示」の3点が印象に残りました。
- 満田さんと少しお話したのですが、学生の「時間という名の資産」という話が印象的でした。
- 学力に関する証明書発行時に注意するポイントについて、及び学生対応についてがとても印象的でした。
- 学生対応では、視覚的に資料を提示しながら、説明することが重要だとワークで学びました。
- 「学力に関する証明書」の法令等の根拠。学生対応についての他大学の事例。
- 学力に関する証明書の基本事項を確認することができました。また、対面をみのセッションでは、学生対応の事例を共有した際に身につまされるものがあり、今回学んだことをもとにもう一段レベルアップしようと思いました。
- 学生の窓口対応のグループワークを通して、時代が変わり多様化する学生が多いとはいえ、古今東西、窓口対応の課題は共通していることを改めて認識しました。
- グループワークで、先輩職員の方に自分が困ったことについて親身に聞いていただきました。いただいたアドバイスを通して新しい視点を持つことができました。
- 学力に関する証明書の作成における、理解しておくべき基本的なこと、注意点、などは何度聞いて

も、その都度、本学の証明書事例などと照らし合わせて考えて確認でき、非常に勉強になります。その他、課程認定の際に必要な解釈等についても、変更届の時に確認すべき点と重なり、自身で冷静に確認するための良い機会です。また、今回の学生対応、学修支援に関する話題についても、身近で常に模索していることを他大学の方々と共感、共有でき、有意義な時間となりました。

○繁忙期の窓口対応において、このままでよいのかと自問自答する日々でしたが、他大学の方の対応方法や考え方等をお聞かせいただき、目指す方向性や考え方の核となるものなど、少しずつ見えてきたように感じた。

○基礎資格と授与資格の違い、確認欄の使い方、教科に関する科目と大学独自の科目の単位の考え方など、個人の解釈だけでは間違いが起きそうだと思います。このような法令解釈ミスをなくすためにも講習会には出ていくべきだと感じました。

○学力に関する証明書の現状を知ることができました。近年の法改正、文科省通知に正しく対応すべく、セミナーを手掛かりに、学びを深めていきたいと思っています。

○他校との違い。

○2027年に教職の法改正(?)が予定されていること。

4. 本セミナーのよかった点を教えてください。

○教職事務は特殊な上に細かな注意が必要な業務だと思うので、今後も可能な場合は対面で参加し、全国に味方を作って教職事務を乗り切っていこうと思いました。

○いわゆる講習会と異なり、独特の和やか間がある点です。

○スペシャリストで専門家的な方が多いイメージが若干ありましたが、その意味で、有馬先生のお話を聞いて、「これから頑張っていけばよいんだ」という安心をした部分が大きかったです。

○初任者でもついていった点。

○今年度から教職課程の担当をするようになったが、初任者でも理解しやすく、かつ簡潔に説明されていたのでとても良かったです。

○初任者向けであったが、自身の知識の確認の場として活用できたこと。

○自身のブラッシュアップにつながった。

○証明書作成業務のポイントを初心者向けに分かりやすく教えていただいた点が良かったです。

○小野さんのパートでは、体系的にかつ根拠とともに学ぶことができ、理解しやすかったです。有馬さんのパートでは、自大学に活かしたい事例紹介があり、非常に参考となりました。

○大学内では学べない幅広い知識を得ることができる点です。教職は、古い知識も必要とするので、古い知識を学びつつ、今を理解する。また、根拠規定なども説明いただけるので、納得できる点が素晴らしいと思います。

○より実践的な内容が盛り込まれている点がとても良かったです。

○「学力に関する証明書」という、教職担当者にとってなじみ深い題材をもとに、「一般的包括的内容」や「大学が独自に設定する科目」など、見落としやすいポイントについて深掘りしていただきました。日ごろの業務に直結する内容であり、学びの多い講習会でした。

○過去の経緯等は、業務を引き継ぐ際も、担当者間では、そこまでやりとり出来ないのも非常に有意義な内容でした。

○証明書を発行するうえで、過去の法改正や様式に記載の文言について、根拠や経緯を知ること、理解して発行することができ間違いの処理を未然に防ぐのに役立つ点。

○毎年この時期に法令用語について改めて勉強ができ、大変ありがたく思っております。ありがとうございます。

○各パート1時間程度で終わったこと。

○半日程度で各人60分程度というのは疲れすぎずに頭を切り替えられるリズムで、受講しやすかったです。

- 60分という長いようであつという間の時間で、たくさんの有益な情報が得られること。いつも分かりやすい説明をありがとうございます。
- 学力に関する証明書の具体例が示されていて良かった。
- 学力に関する証明書を具体的に説明いただいたこと。読み替え表を作成しておくことの重要性を再確認できたこと。
- 実際の学力に関する証明書をを用いて説明してくださったので、これからどういうものを作成していくのかがイメージできて分かりやすかったです。
- 業務にあたり自分たちがやっていることが正しいのかどうか、外部に問い合わせすることに躊躇することも多いのですが、こうしたセミナーで基本を再確認できることはとてもありがたいです。今回は人事異動で新たに教職担当者が変わったところで何か良い研修資料等がないかと調べていたところこちらの研修会を知りました。機会があれば他の教務系の研修も参加できればと思っています。ありがとうございます。
- すぐに実践してみようという気持ちになりました。最低限、このラインはしておくべきことがあると感じ、本学ではまだできていない部分もあり、意識を変えていきたいと思いました。
- オンライン方式で参加できたこと、アーカイブで拝見できる（自分自身で理解度をチェックする）ことです。業務の合間或いは自宅で資料を見ながらアーカイブで拝見し、勉強させていただきます。
- 知識の再確認。
- 学力に関する証明書を作成するにあたり注意する点を強調してご教授いただけたので記憶に残りました。
- 本学における証明書発行フローを見直すきっかけとなりました。特に、パート職員が発行業務を担っている部局もあるため、そうした方々に発行方法を指導する立場として、基本用語から理解できたことは大きな収穫です。また、発行ミスを防ぐ観点から、様式そのものの見直しの必要性も強く感じました。6月7日開催予定の「最適な学力に関する証明書の様式を考える」セミナーについても、非常に関心を持っております。
- 他セミナーでは中高について取り上げられることが多いですが、今回のセミナーでは幼小についても取り上げてくださっており、幼小の担当をしている私にとって大変ありがたかったです。
- 「学力に関する証明書」を理解するうえで法律の理解が必要であるが、自分で読むだけでは理解しきれない部分が多くあった。その法律の解説を交えながらの説明があることでより理解しやすい内容であった。また、学生対応において他大学の同じ分野を扱う部署の悩みやそれに対する解決法を共有しあえる機会があり、対面ならではの有意義な時間であった。
- 説明の根拠となる資料等も示されているため、今後、疑義が生じた場合の情報収集の仕方などの参考となります。
- リアルタイムオンラインで聞きましたが、やはりついていけないところもありました。また動画を見て復習したいと思います。
- 事前にグループ分けされていたので、チームの方と打ち解けやすかったです。講義型だけでなく、ワークもありあつという間の時間でした。
- グループディスカッションを通じて、他大学の方々の対応方法や課題意識を知ることができたことが非常に有意義だと感じました。
- グループが4人中3人女子大の職員であり、似た環境の大学同士で情報交換できるよう配慮いただいてありがたく感じました。
- 他大学の事例を知ることが出来た点。
- 対面で参加させていただき、直接他大学の方と悩みや疑問点を共有できた。メール等の文章には表しにくい相談ができるので、大変良い機会となりました。
- 他大学の方にお聞きしたかったことがあり、情報交換会を含め様々な大学の方の事例をお伺いすることができました。

- 対面で参加することにより、他大学の様子がうかがえるところ。グループワークとその発表により、思いがけず業務のヒントになる話が出てきたり、今後同様な事案が起きた際の参考になる等、他大学の方から獲る話は毎回大変興味深いです。
- 他大学さまの様子を聞くことができ、様々な対応方法があることを知れたこと。
- 他大学の課題とその取り組み方や向き合い方を知ることができ、知見を広げることができました。
- 多種多様な学生対応について他大学の具体的事例を知ることができ、非常に学びの大きいものであった。また、教職課程の単位のスリム化のような時事を小話として聞けたことも良かった。
- 毎回感じるのですが、対面でのセミナー参加は、対面でしか聞くことができない内容の研修を受けることだけではなく、他大学の方と、その場で意見交換ができ、教職以外のことも聞くことができることが、非常にありがたく、満足感しか残らないです。
- 今回は、教職課程に関わる基本的な知識修得だけでなく、学生支援（窓口対応）等に関するグループワークがあった点。

5. 本セミナーについて、改善を望む点があれば教えてください。

- 特にございません。ただ、欲を言えば、なかなか対面で受講することが叶わないため、第二部で話題になったことや気づきなどがあれば、共有していただければありがたいです。
- 現地参加でしか参加できない二部の部分も可能な限り、事後に情報共有できると嬉しいです。
- グループワークの発表時間が少ないように感じた。他グループのその話、もっと掘り下げて教えてほしい！と思うこともあり、雑談や悩みの共有から得られる知識・考え方をもっと学びたいと思いました。
- グループ内で出てきた疑問点、知りたいことを皆さんでもう少し深掘りする時間があれば嬉しい。
- 講師の解説は非常に分かりやすく、有意義なものでした。その上で、可能であれば第2部だけでなく第1部にもディスカッションの機会を取り入れていただけると、より多様な視点に触れることができ、実務への応用にもつながると感じました。
- 有馬さんの話が途中で終わった感があり、もっと聞きたかったです。
- グループが、性別で分けられていたように感じたのですが、意図的だったのでしょうか。過去の色々な意見からそうされているのかもしれませんが、学びの場なので、様々なキャリア・視点をお持ちの方との交流ができてよかったかなと思います。
- 微妙な時期で天候の問題もありましたが、会場が終始暑かったです。強いて言えばですのご容赦ください。

※5. に記載の改善点以外の記述。

- 継続的、定期的にセミナーを行っていただければ、継続して参加したいと思っております。
- これくらいの金額の講習があると助かります。
- 学生対応や保護者対応についてまた学べる機会があればありがたいと思いました。
- 始めて参加させていただきましたが、大変有意義なセミナーだと思いました。もっと早く知りたかったと思っています。オンライン方式を増やしていただくとうれしく思います。
- 対面講義に参加したいですがなかなか難しいこともあります。オンライン講義を併用していただき、あとで見返すということも効果的だと思いますので、今後も同じように対面とオンライン併用、録画配信のように多様な学びができると嬉しいです。
- いつもありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。

以 上